DEWALT®

デウォルト電動工具
取扱説明書

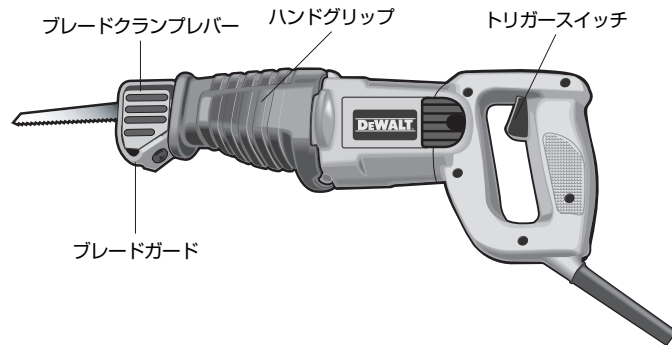
DW303MK
レシプロソー・セット

二重絶縁

本製品は電気的に安全な二重絶縁構造となっておりますので、
接地（アース）する必要はありません。

このたびはデウォルトレシプロソーをお買い上げいただき、大変ありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。
この取扱説明書を大切に保管し、必要な時に備えてください。

製品の各部名称と仕様

ブレードクランプレバー
ハンドグリップ
トリガースイッチ
ブレードガード

こだわりのデウォルト... 強靭な作業場を提供します。
デウォルトブランドの高品質・耐久性は現在、世界各国で圧倒的な支持を獲得しています。デウォルト電動工具は1923年アメリカ合衆国、レイモンド・デウォルトによって最初の卓上スライド丸ノコが開発されました。以来、石工、木工、金工用工具を問わず多数の工具を提供し、その耐久性はあらゆる作業場の要望にお応えし、満足していただいています。すべての工具はハイテクを駆使した弊社製造技術のもとに作られ、また出荷前の品質管理には万全を期しています。強靭な耐久性、作業の確実性、ハイパワーを作業場でお楽しみください。

仕　様

品　番	DW303MK
電圧	AC100V
消費電力	670W
ストローク数	0〜2,500 回/分
ストローク長	29mm
切断能力	パイプ：φ115mm 木材　：100mm 軟鋼材：13mm
質量	3.0kg

注意）上記仕様は改良の為、主要機能および形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

目　次

安全上のご注意

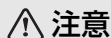
⚠注意　正しく安全にお使いいただく為に、ご使用の前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

電動工具をお取扱いの際には、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠警告　この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意　この表示の欄は、「障害を負う危険性または物的障害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容を、次の絵表示で説明しています。

⚠　このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」です。

⚠警告　電動工具を安全にお使いいただくために。

◆作業場の環境について

- **明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。**散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。
- **雨中や湿った場所など本体内部に水の入りやすいところでは使用しないでください。**湿気はモーターなどの電気絶縁を低下させ、感電事故につながります。
- **危険物のまわりでは決して作業しないでください。**通常、電動工具は使用中またはスイッチのオン・オフ時にスパーク（火花）が発生しますので、引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しないでください。
- **屋外でのご使用には、用途に適した延長コードをご使用ください。**屋外でご使用になる場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- **お子様を近づけないでください。**お子様や外部の方、訪問者が電動工具に触れないようにしてください。作業場所は作業者以外、立入禁止にしてください。

◆個人的な警告事項

- **不用意なスイッチ・オンは決してしないでください。**持ち運ぶ間はスイッチに手を触れないようにしましょう。スイッチが入ると不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。
- **保護メガネや他の保護器具を必ず使用してください。**飛散する切り粉から目を守るために保護メガネを必ず着用してください。ホコリが大量に出る切断作業では健康のためにも防じんマスクを併用してください。作業環境によっては耳栓、ヘルメット、手袋、安全靴の使用も必要です。

◆工具の使用と手入れ

- **加工材はしっかりと固定して作業してください。**クランプや万力などで加工材を固定してください。手で保持するよりも安全ですし、両手で電動工具を使用することは安全につながります。
- **スイッチが入らない、あるいは切れない場合は、ご使用を直ちに中止してください。**スイッチの故障した電動工具は、不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。所定のサービスセンターで修理してください。
- **電動工具の調節や刃物、ビット類の交換の際には、必ずプラグをコンセントから外してください。また、必ずスイッチがオフであることも確認してください。**こうした確認は不意に電動工具が作動して引き起こす事故を防止します。
- **指定の付属品、アタッチメントを使用してください。**デウォルト社製工具への使用を推薦していない付属品やアタッチメントの使用は危険をともなうことがあります。

⚠ 警告 電動工具を安全にお使いいただくために。

◆電気に関する安全事項

- **電源コードを乱暴に扱わないでください。** コードの部分を持って工具をぶら下げて持ち運んだり、コンセントから外す際にコードを引っぱったりしないでください。感電やショート等の原因となるので、コードを熱いものや油、薬品類に接触させたり、鋭利なものでキズをつけないように注意してください。万一、誤ってキズをつけた場合はその箇所に手を触れず、直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。キズついたコードは火災を引き起こす危険性があります。
- **感電に注意してください。** 電動工具の使用中、身体をアースされているものには絶対に接触させないでください。

◆個人的な注意事項

- **常に注意して作業を行なってください。** 電動工具を使用する際、取扱方法、作業の手順、周囲の状況などに十分注意し、作業に集中してください。疲労時や飲酒、薬の服用時などには決して使用しないでください。使用時の集中力の欠如は重大な事故を引き起こす原因となります。
- **キチンとした服装で作業を行なってください。** そで口の開いた服装や宝石類を身に付けないでください。電動工具の駆動部分に巻き込まれる恐れがあります。屋外で作業をする際には、滑り止めのついた履き物を着用することをお勧めします。長髪の方は作業の邪魔にならないように帽子などをかぶってください。
- **調整用キー、レンチ等は、使用時以外は必ず取り外してください。** スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が全て取り外されているかどうか、常に確認する習慣をつけてください。
- **無理な姿勢で作業をしないでください。** 常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
- **電動工具に無理な力をかけないでください。** 電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。また、所定の速度で使用することによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。
- **作業に合った電動工具を使用してください。** 指定された用途以外には使用しないでください。小型の電動工具やアタッチメントを、大型の電動工具が必要な用途の作業に使用しないでください。
- **使用していない電動工具はお子様や初心者の方の手が届かないところに保管してください。** 電動工具はお子様や初心者の方には大変危険なものです。使用していない時は子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⚠ 警告 電動工具を安全にお使いいただくために。

◆工具の使用と手入れ

- **損傷部品を点検してください。** 引き続き使用する前に、安全カバーやその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されるかどうかを確認してください。可動部分の位置ずれや引っかかり、部品の破損、取り付け状態、その他に異常がないか点検してください。損傷した不良部品は、所定のサービスセンターで修理または交換してください。
- **電動工具と刃物類は、こまめに手入れをしてください。** 安全で効率の良い作業をしていただくために、刃物類はよく手入れをし、シャープな状態を保ってください。握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。電動工具は常に手入れのゆきとどいた状態で使用してください。

◆修理／メンテナンス

- **電動工具の修理は有資格技術者のみが行なえます。** 修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターで行わなければなりません。
- **純正部品のみを使用してください。** 十分な能力を発揮するために、修理、メンテナンス、調整は、純正部品のみを使用して行なわなければなりません。

⚠ 警告 レシプロソーに関する安全上の追加事項。

- **銘板に表示されている定格電圧が電源と一致していることを必ず確認してください。** 定格電圧は銘板に記載されています。
- **壁や床に穴をあける際には、内部の電気配線や配管に注意してください。** 感電や水漏れ、ガス漏れなどの事故を引き起こさないように十分調査してから作業を行なってください。壁裏などの通電中の配線を誤って切断した場合などに備え、二重絶縁されている本体のハンドル部分をつかんで作業を行なってください。通電中の配線に触れると、作業者が感電する危険性があります。
- **使用中は、振り回されないように工具本体を確実に保持してください。** 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- **使用中は、ソー・ブレード（のこ刃）や切りくずに手や顔などを近づけないでください。** けがの原因になります。
- **使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を停止し、お買い求めの販売店、弊社営業所もしくは、所定のサービスセンターで点検・修理を依頼してください。** そのまま使用を続けると、けがの原因になります。

⚠ 警告　レシプロソーに関する安全上の追加事項。

- **誤って落としたり、ぶつけたときは、アタッチメントや付属品、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。**破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- **石綿は人体に有害です。**このような成分を含んだ材料を加工する作業では防じん対策を充分にしてください。

⚠ 注意　レシプロソーに関する安全上の追加事項。

- **ソー・ブレード（のこ刃）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**確実でないと、はずれたりして、けがの原因となります。
- **使用中は軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**電動工具の駆動部分に巻き込まれ、けがの原因になります。
- **騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。**
- **作業直後のソー・ブレード（のこ刃）や切りくずは高温になっていますので、触れないでください。**やけどの原因になります。
- **高所作業を行なうときは、下に人がいないことを良く確認してから作業を行なってください。**材料や機械を落としたときなど、事故の原因になります。

電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。
回・・・・・・・・・・　二重絶縁

本機は二重絶縁構造になっており、工具の外側の部品は電力の供給源と絶縁されており、アースしなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

延長コード
電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。
使用できるコードの太さ（公称断面積）最大長関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25mm²	15m
2.00mm²	25m

製品の特色と使用方法

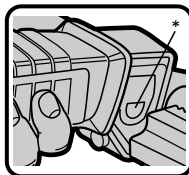
◆トリガースイッチ

トリガースイッチ

トリガースイッチを引くとモーターに電源が入ります。トリガースイッチをはなすと電源が切れます。トリガースイッチには無段変速機能が組み込まれていますので、強く引くと高速、弱く引くと低速と速度を調節することが可能です。作業の用途により、引き金の引き具合で速度を調節できますので、大変便利です。

⚠安全のため、低速の状態で切断作業を開始することをお勧めします。その後、作業の用途に合った速度に徐々に上げていってください。低速の状態で長時間切断作業を続けないでください。これは工具をいためる結果になります。

◆ソー・ブレード（のこ刃）の取り付け

⚠ **警告**　ソー・ブレード（のこ刃）の取り付け/取り外し作業を行なう前に、必ずプラグをコンセントから外してください。プラグを電源につないだまま行なうと事故の原因になります。

(1) ブレードクランプレバー(*)を上に引いてください。

(2) ソー・ブレード（のこ刃）を前部のブレード挿入口へ入れてください。

(3) ブレードクランプレバー(*)を下に押してソー・ブレード（のこ刃）をロックしてください。

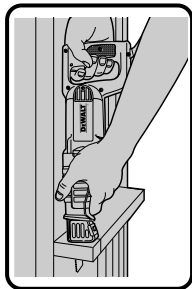
ブレードをレシプロソーから外すには：

(1) ブレードクランプレバー(*)を上に引いてください。

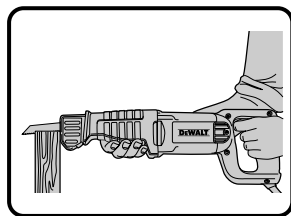
(2) ソー・ブレード（のこ刃）を前部のブレード挿入口から取り外してください。

(3) ブレードクランプレバー(*)を下に押して元の位置に戻してください。

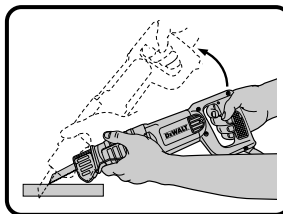
⚠ **注意**　危険ですので絶対にブレードガードを取り外して使用しないでください。

◆フラッシュカット

ソー・ブレードを従来の逆向きに装着することにより床や隅、困難な角度等も切断作業が容易に可能です。

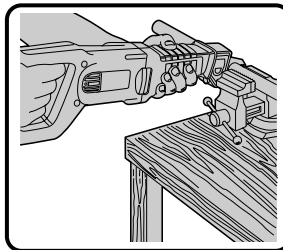
⚠壁や床面など隠れた部分に電気配線があったり、この工具のコードを切る危険性のある所で作業を行う場合、二重絶縁されたグリップ表面でこの工具を掴んでください。この工具先端部分の金属部に絶対にさわらないでください。電流の流れたワイヤーへ接触すると、工具の金属部分に通電し、感電する恐れがあります。

⚠かならず保護メガネを着用し、作業を行なってください。

木材が固定されていないときは、切断作業の前にかならずクランプ等を使って加工する物を固定してください。まずソー・ブレードをゆっくりと加工物へおろし、モーターのスイッチをゆっくり入れ、切断を開始する前に速度を最大まで上げてください。切断作業の最中はかならず両手を使ってレシプロソーをしっかりと固定してください。振動やぶれを防止するため、ブレード・ガードは作業物に常に接触した状態を保ってください。ソー・ブレードの破損防止にもつながります。

◆ポケットカット（木材のみ）

ポケット・カットとは、木材の表面をくり貫く方法です。木材表面に鉛筆等で切断面に線を引き、その線に従ってくり貫きます。

1. まずポケット・カット専用のソー・ブレードをレシプロソーに装着してください。
2. 次にブレードガードの下の部分を作業物表面に接触させ工具を安定させてください（このときソー・ブレードは作業物表面に接触させないで！）。
3. モーターのスイッチを入れ、速度を最大まであげてください。
4. ブレードガードの下の部分を作業物表面に接触させたまま、ゆっくりとソー・ブレードを作業物におろすと、少しづつ木材表面を下方向へ切断し始めます。
5. 木材が下まで貫通したあと、レシプロソーを表面から90度に立て、木材を切断します。木材が完全に下方向へ貫通するまで作業を途中で止めないでください。途中でやめますと、工具が作業物表面から跳ね返りたいへん危険です。

⚠この切断方法は切断表面の視界がよくありません。切断の最中、ブレード・ガードをガイドと見たてて切断してください。

◆金属切断

ソーブレードの種類により、金属の切断能力は異なります。ソー・ブレードを選ばれるとき製品の仕様、用途をよく読み、作業の内容に適したブレードをお選びください。通常、歯数が多いブレードの方がきれいに仕上がります。薄い金属板を切断される際、金属板の両面を木材ではさみ、クランプで固定することをお勧めします。この方が振動や金属切断部のまくれを防止し、きれいに仕上がります。切断作業中、無理な力をかけて切断することはソー・ブレードの寿命を著しく短縮させますのでおやめください。

⚠切断される金属の表面に油や潤滑グリス等をさされることをお勧めします。切断作業のスピードを速めますし、ソー・ブレードの寿命も長くなります。

メンテナンス

ホコリや油等が製品の表面に付着した場合、布やブラシ（金属以外のもの）等でから拭き／ブラッッシングしてください。水、薬品は掃除の際、絶対に使用しないでください。

⚠ **注意**　製品の掃除を開始する前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

アフターサービスについて

本機の修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターにて行わなければなりません。かならずお買い上げの販売店または当社所定のサービスセンターまでご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行ないますと、事故やケガの恐れがあります。

アクセサリー

本製品用の付属品は各販売店もしくは所定のサービスセンターにて販売しております。また付属品やアタッチメントについてのお問い合わせは、マックス㈱までご連絡ください。

⚠当社の認定しない付属品やアタッチメントのご使用は、事故やケガの原因になる恐れがあります。ご使用にならないでください。

MEMO

MEMO

総販売元：マックス株式会社

MAX®

マックス株式会社

拠点	〒	住所	TEL
本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8121㈹
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)236-4121㈹
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8118㈹
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8531㈹
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6444-2031㈹
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)411-5416㈹
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2－10－3	TEL(019)621-3541㈹
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市簗瀬町2313	TEL(028)636-3012㈹
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297－12	TEL(04)7132-1500㈹
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5－17－19	TEL(042)528-3051㈹
浜松営業所	〒433-8117	浜松市高丘東2－22－15	TEL(053)439-3300㈹
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3－24	TEL(099)269-5347㈹
新潟マックス㈱	〒955-0081	三条市東裏館2－14－28	TEL(0256)34-2112㈹
水戸マックス㈱	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2－3－27	TEL(029)255-3761㈹
群馬マックス㈱	〒371-0844	前橋市古市町233－5	TEL(027)210-7755㈹
埼玉マックス㈱	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL(048)651-5341㈹
千葉マックス㈱	〒284-0001	四街道市大日1870－1	TEL(043)422-7400㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7－6	TEL(045)364-5661㈹
長野マックス㈱	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377㈹
長野営業所	〒381-2247	長野市青木島1－35－1	TEL(026)285-6740㈹
静岡マックス㈱	〒422-8036	静岡市敷地1－3－26	TEL(054)237-6116㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸2－15	TEL(076)240-1871㈹
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10－8	TEL(076)452-0182㈹
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2－1711	TEL(0776)27-3378㈹
京滋マックス㈱	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061㈹
兵庫マックス㈱	〒652-0832	神戸市兵庫区鍛冶屋町2-1-2	TEL(078)652-7370㈹
三木営業所	〒673-0404	三木市大村109－1	TEL(0794)83-2121㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田3－23－28	TEL(086)246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町761－3	TEL(087)866-5599㈹
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広1－4－25	TEL(088)623-0286㈹
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2－1－35	TEL(089)913-0608㈹
マックスサービス㈱札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)231-6487㈹
マックスサービス㈱仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)237-0778㈹
マックスサービス㈱高崎	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820㈹
マックスサービス㈱埼玉	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL(048)667-6448㈹
マックスサービス㈱名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8210㈹
マックスサービス㈱大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6446-0815㈹
マックスサービス㈱広島	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-5670㈹
マックスサービス㈱福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)451-6430㈹

●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料）　0120-228-358

月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

630511-00　　040714-00/00